

# 不二精機株式会社

## 2020年12月期

### 決算説明資料



2021年3月

#### おことわり

この開示資料に掲載されている当社の将来に関する計画、戦略などの記述は、現在入手可能な情報による判断に基づいております。

さまざまな要因により、これらの計画などが変動する可能性があることをご承知おきください。

(金額は、百万円未満を四捨五入して記載しております)

# 2020年12月期実績

《コロナ禍の影響を受け》



# 2020年度 損益概要(連結)

PRODUCT MOTHER

FUJI SEIKI

(単位:百万円)

	2019年(前期実績)		2020年(業績予想)		2020年(実績)					
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	前期比		業績予想比	
							増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	6,593	100.0%	6,488	100.0%	5,913	100.0%	△680	△10.3%	△575	△8.9%
売上総利益	1,456	22.1%	1,307	20.1%	1,254	21.2%	△202	△13.9%	△53	△4.1%
営業利益	387	5.9%	259	4.0%	283	4.8%	△104	△26.9%	24	9.3%
経常利益	342	5.2%	129	2.0%	142	2.4%	△200	△58.5%	13	10.1%
当期純利益	290	4.4%	65	1.0%	99	1.7%	△191	△65.9%	34	52.3%

※「業績予想」は2020年11月13日に公表した修正予想値です。

売上高は、新型コロナウイルスの影響を国内外で受け、精密金型事業では医療用関連分野を中心に堅調な受注が続いているものの検収手続きの遅れが発生し、精密成形品事業では主力の自動車用部品で顧客の稼働が停止した時期があり、前期比6億80百万円減(10.3%減)の59億13百万円となりました。

営業利益は、精密成形品事業の稼働率の低下などにより、前期比1億4百万円減(26.9%減)の2億83百万円となり、経常利益は、営業利益の減少に加え、インドネシア子会社での本社からの円建て借入金の評価替えなどによる為替差損90百万円の発生があり、前期比2億円減(58.5%減)の1億42百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益が減少したことにより、前期比1億91百万円減(65.9%減)の99百万円となりました。

# 2020年度 営業利益(連結)

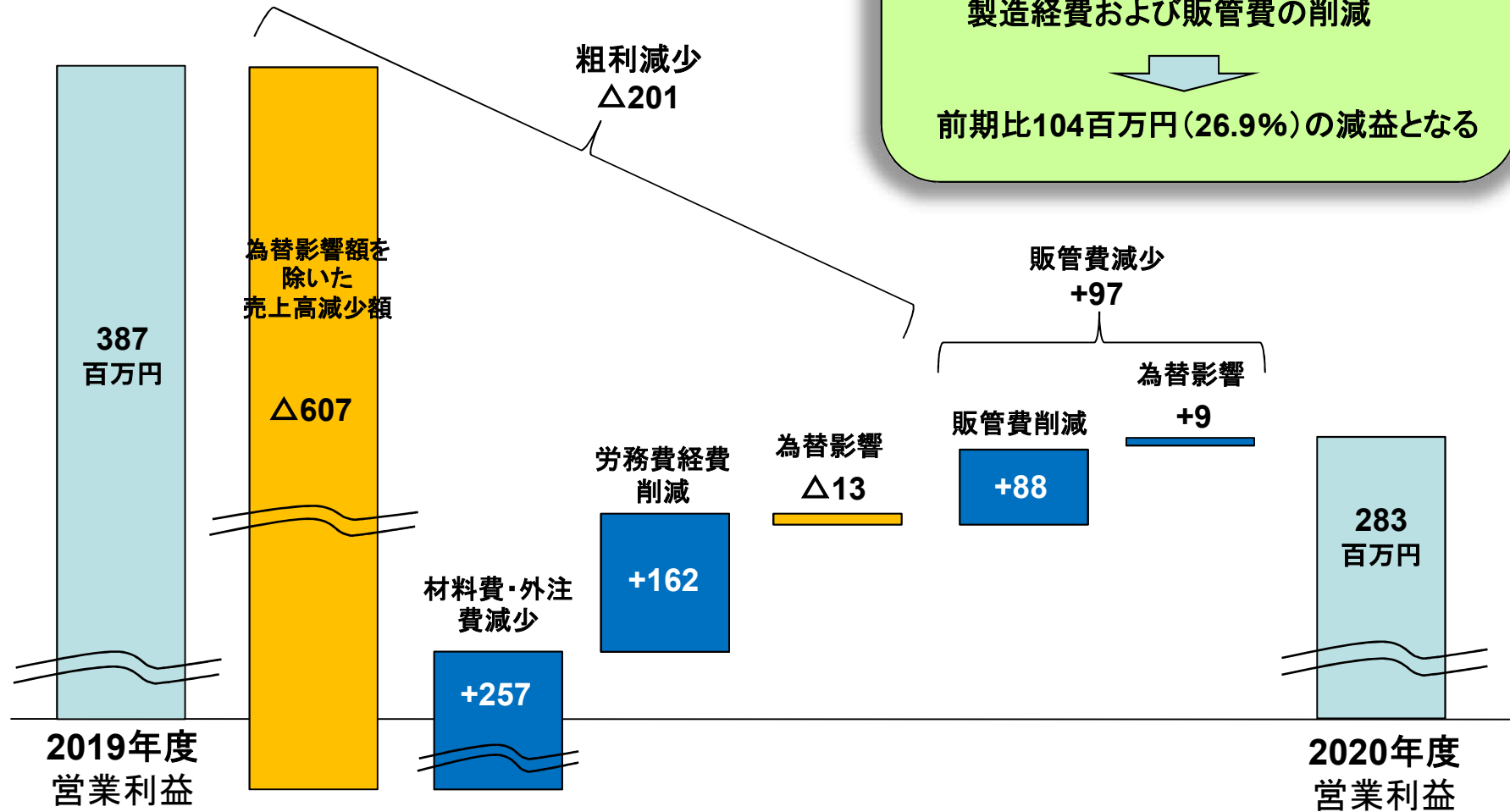
## ～対前期比増減要因

※「為替影響」は子会社決算の円換算レートによるものです。

### 【営業利益減少要因】

1. 売上高はコロナ禍で減収(10.3%)
2. 売上減による材料費・外注費減少  
製造経費および販管費の削減

前期比104百万円(26.9%)の減益となる

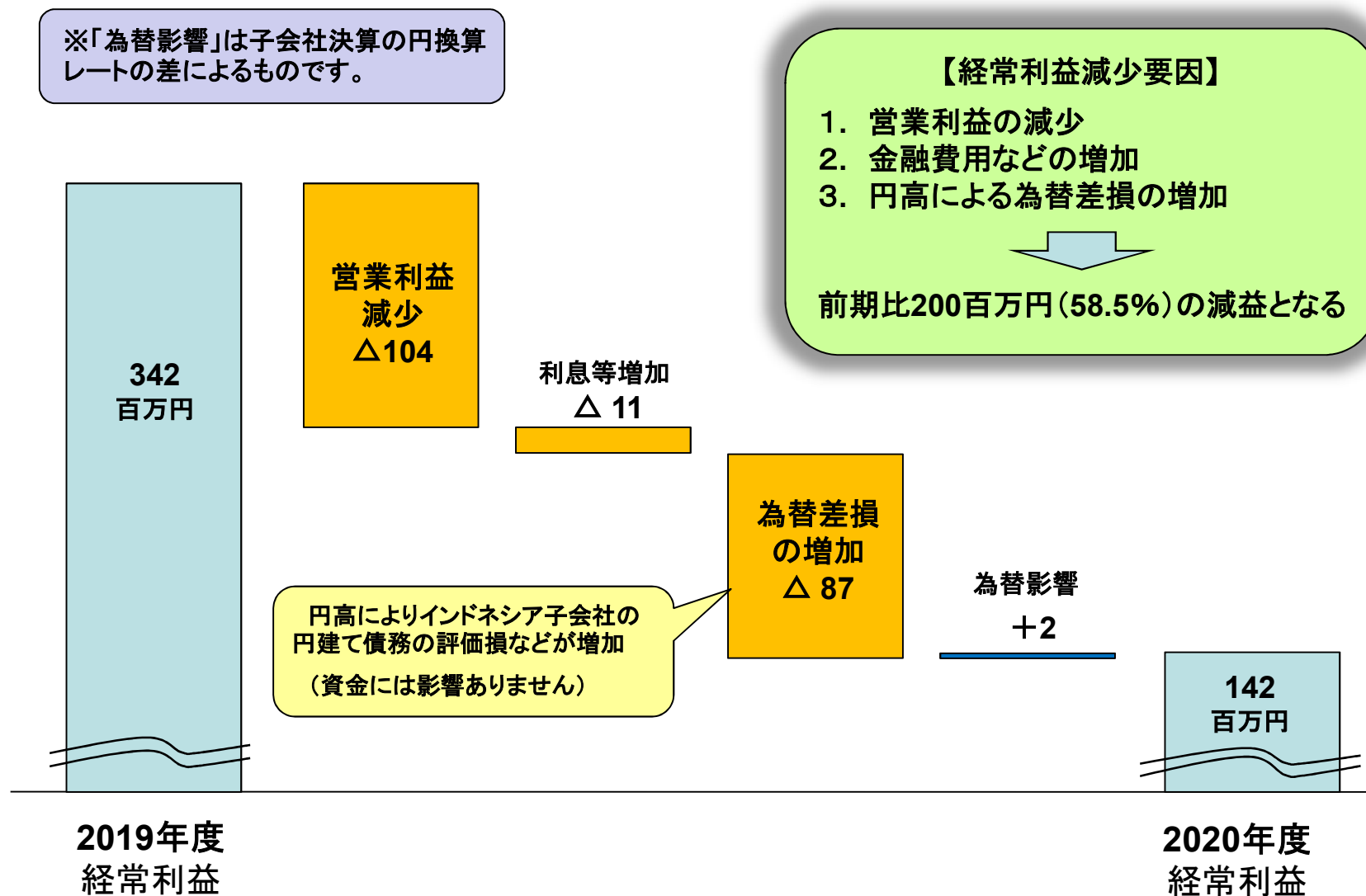


# 2020年度 経常利益(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

## ～対前期比増減要因

※「為替影響」は子会社決算の円換算レートの違いによるものです。



# 2020年度 連結貸借対照表の概要

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(単位:百万円)

		2019年度(前期)		2020年度			
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	主な増減要因
資産	流動資産	3,315	47.5%	3,500	47.0%	185	現預金、金型事業の棚卸資産増加
	固定資産	3,670	52.5%	3,949	53.0%	279	増産に向けての設備投資による増加
資産計		6,985	100.0%	7,449	100.0%	464	
負債	流動負債	3,349	47.9%	3,659	49.1%	310	金型前受金、短期借入金の増加
	固定負債	1,997	28.6%	2,111	28.3%	114	リース債務の増加
負債計		5,346	76.5%	5,770	77.5%	424	
純資産計		1,639	23.5%	1,679	22.5%	40	利益剰余金の増加
負債・資本計		6,985	100.0%	7,449	100.0%	464	

## 【取組課題】

- ① 売掛債権・棚卸資産の圧縮による有利子負債の削減
- ② 利益の蓄積による自己資本比率の向上

# 2021年12月期予想&トピックス

《上場年度後の最高益を目指します!》



## ☆為替レートの影響について

当社は中国、タイ、インドネシアに連結子会社があり、各社とも現地通貨での決算を行っており、為替レートの影響を受けます。

売上高、利益などについては、各連結子会社の2020年度の平均レートを基に2021年度連結業績予想を算出しております。

また、期末日のレートで連結各社とも外貨建て債権・債務の評価替えを行い、評価差損益を営業外損益に計上いたします。

(2020年度に発生した為替差損90百万円は上記の処理によるものです)

2021年2月12日公表の業績予想は、下記の各レートにより円換算しておりますが、為替レートの影響で、円換算額が変動する可能性があります。

(1通貨当たりの円)

中国元	タイバーツ	インドネシアルピア
15.50	3.35	0.0072



### ☆精密金型事業の受注から売上計上(顧客での検収)について

当社グループで製造する精密金型事業の、受注から生産・売上計上(検収)に至るまでの期間は、おおむね5か月程度となっております。

\* 精密金型事業の売上は、検収基準(顧客の検収時点)となっており、製品の完成後も顧客の検収のタイミングによって売上計上時期のずれが発生します。

2020年度までの精密金型事業の受注高および受注残高の実績推移は、以下の通りです。

2021年度の売上高は、2020年度末の受注残高に影響されます。

	受注高(百万円)	前年比	受注残高(百万円)	前期末比
2020年通期	2,787	102.7%	1,792	134.2%
2019年通期	2,715	93.6%	1,335	86.1%
2018年通期	2,901	138.0%	1,550	149.8%
2017年通期	2,102	125.8%	1,035	161.1%

# 2021年度 業績予想(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(単位:百万円)

	2020年度実績			2021年度予想			2021年度予想の概要
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	
精密金型事業	2,327	39.4%	△20.4%	2,876	40.1%	23.6%	医療用関連分野金型の増加
精密成形品事業	3,586	60.6%	△2.3%	4,304	59.9%	20.0%	自動車関連部品の回復と増産
売上高	5,913	100.0%	△10.3%	7,180	100.0%	21.4%	
売上総利益	1,254	21.2%	△13.9%	1,572	21.9%	25.4%	売上高の増加および精密成形品事業での稼働率向上による利益率の改善
販管費	971	16.4%	△9.2%	1,122	15.6%	15.6%	売上高の増加に伴う輸送経費などの増加および営業活動の強化
営業利益	283	4.8%	△26.9%	450	6.3%	59.0%	増収による売上総利益の増加で販管費の増加を吸収し増益
経常利益	142	2.4%	△58.5%	403	5.6%	183.8%	営業利益の増加により増益
当期純利益	99	1.7%	△65.9%	373	5.2%	276.8%	経常利益の増加により増益

## 【2021年度予想の変動リスク要因】

- ①新型コロナウイルスの収束の状況
- ②新興国通貨(インドネシアルピア)の為替変動

2021年度は、営業利益、経常利益、当期純利益とも上場年度後の最高益を目指しております。

# 直近5年間の業績・財政の推移および2021年度予想

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

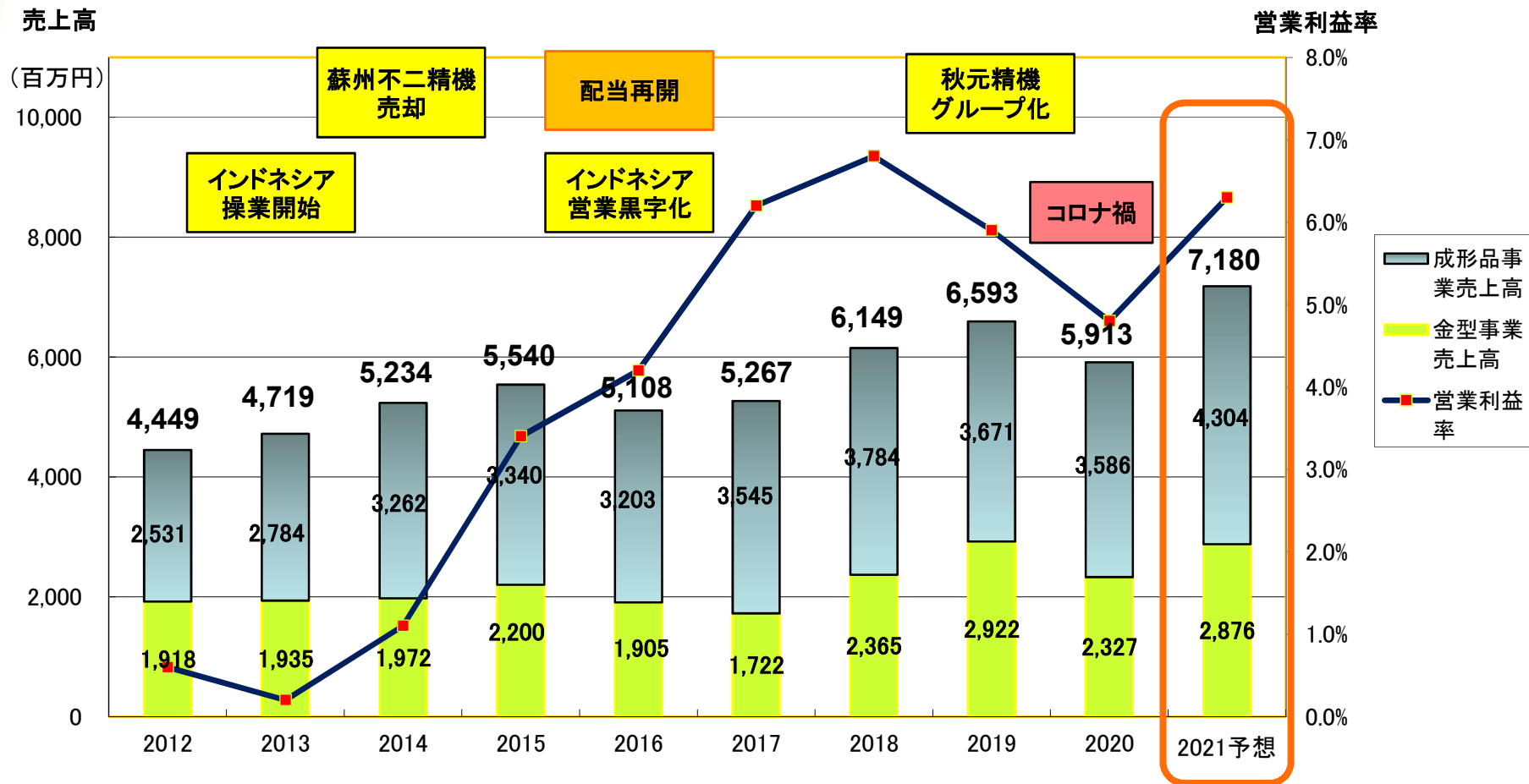
(単位:百万円)

連 結	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年(予想)
売上高	5,108	5,267	6,149	6,593	5,913	7,180
営業利益	212	324	418	387	283	450
営業利益率	4.2%	6.2%	6.8%	5.9%	4.8%	6.3%
経常利益	56	141	267	342	142	403
当期純利益	39	122	178	290	99	373
1株当たり配当(円)	3.00	3.00	4.00	5.00	5.00	5.00
総資産	5,193	6,068	6,192	6,985	7,449	7,572
自己資本	875	1,114	1,348	1,612	1,659	1,992
自己資本比率(%)	16.9	18.4	21.8	23.1	22.3	26.3
1株当たり純資産(円)	115.49	147.03	174.48	204.34	208.71	250.57
自己資本純利益率(%) (ROE)	4.0	12.2	14.5	19.6	6.1	20.4
設備投資額	292	287	424	837	849	400
減価償却費	288	298	322	345	489	463

2021年度は、営業利益、経常利益、当期純利益とも上場年度後の最高益を目指しております。

# 連結業績 推移(主要イベント)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



2015年から、精密成形品事業の売上高は自動車部品の比率が50%を超え、稼働率の安定化により営業利益が増加、さらに2013年に操業を開始したフジセイキインドネシアが2016年に営業黒字化を達成し、営業利益は売上高の増加に伴い、安定的な増益基調に転換しております。

2020年度は、コロナ禍により一時的に減収減益となりましたが、2021年度は、精密成形品事業で自動車部品関連の回復により大幅な売上増を計画し、精密金型事業での堅調な売上もあり、増収増益を予想しております。

# 配当政策および配当額

当社は、株主への利益還元と将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、連結損益の実績を考慮した上で安定した配当を継続することを基本方針としております。

2016年度において、操業開始後3年を経過したインドネシア子会社の営業損益の黒字化を機に13期ぶりに復配させていただいております。その後、東南アジア市場を中心とした自動車関連の精密成形品の受注拡大に伴い、グループ全体の業績が引き続き安定化する方向でありますので、株主還元を高めることが可能であると判断し、2018年度に1株あたり3円から4円へ2019年年度に4円から5円へ増配し、2020年度は1株あたり5円の配当を株主総会へ提案いたします。

2021年度は、1株あたり5円の配当実施を予想しております。

(単位:円)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	実績	実績	実績	予定	予想
中間期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
期末	3.00	4.00	5.00	5.00	5.00
年間	3.00	4.00	5.00	5.00	5.00

## 三重県鈴鹿市到新工場開設



### 工場概要

名称	鈴鹿工場
住所	三重県鈴鹿市御園町 (御園工業団地内)
操業	2021年6月開始予定
業務	精密成形品製造
用地	既存の不動産取得 土地4,074㎡、建物1,676㎡ (2020年8月取得：上部写真)

自動車関連部品を主力製品として拡大を目指しております精密成形品事業では、従来タイ、インドネシアおよび上海の各子会社を量産拠点として展開しており、現地の日系メーカー様への自動車部品の供給を順次拡大しております。

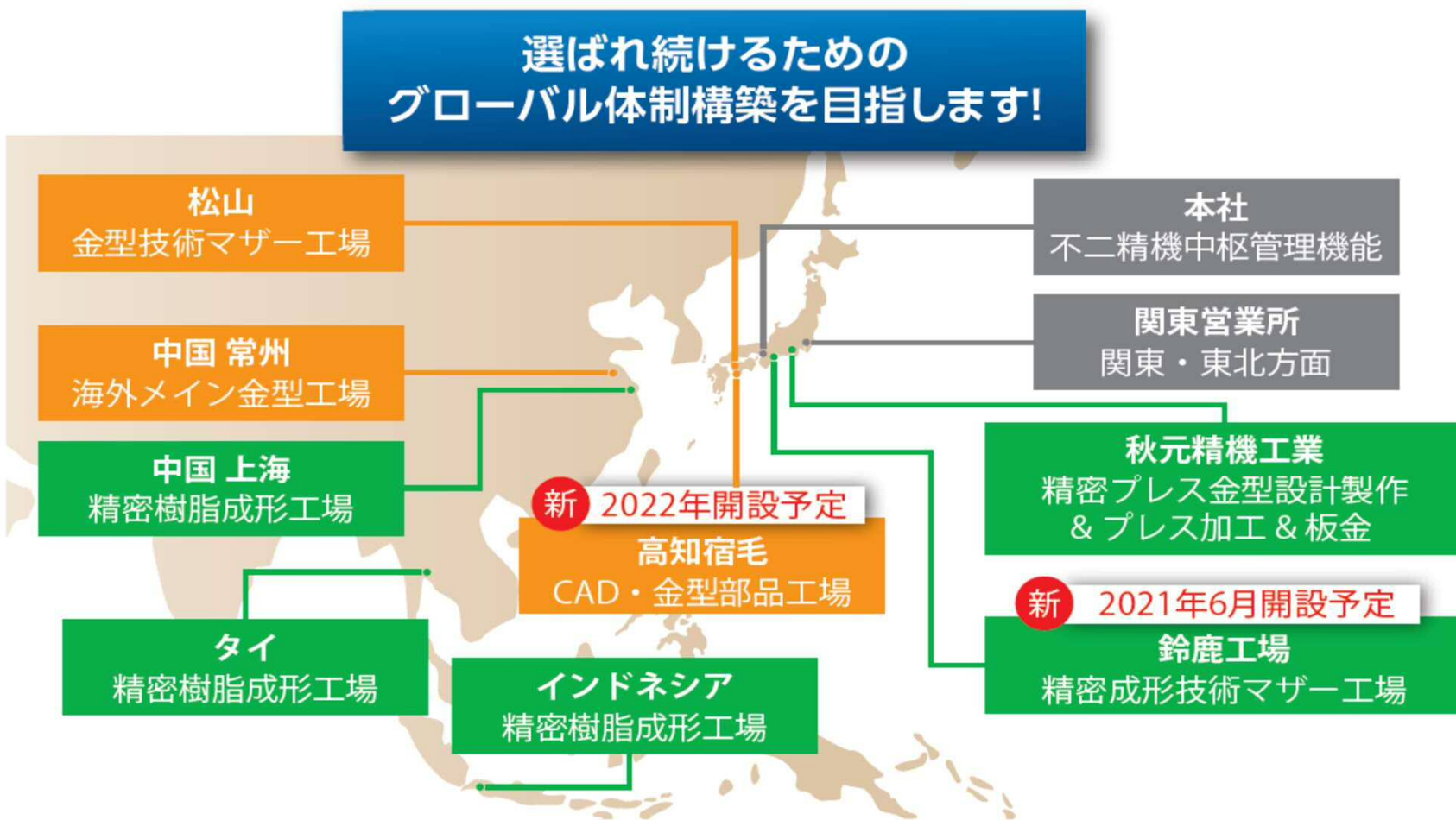
今回新たに開設いたします鈴鹿工場は、海外拠点での供給先である日系メーカー様の多くが集中する東海地域での量産拠点としての位置づけとともに、グループ全体の精密成形品事業のマザー工場として、今後予想されるEV(電気自動車)、自動運転車への移行に伴い自動車部品の電動化・電子制御化が急速に進む中で、対応する新製品の受注・開発の拠点とすることを目指しております。

新製品の開発には、当社の精密金型技術と2019年にグループ化した秋元精機工業の精密板金プレス技術とを組み合わせ、新たな部品の試作から海外拠点での量産立ち上げまでを一括してご提案することで受注獲得を目指します。

また、海外の量産拠点での品質保証・品質管理および生産性の向上に向けた製造工程の自動化設備の開発を併せて進めることを予定しております。

## 不二精機グループ グローバル体制構築

祖業である精密金型事業では、高知県宿毛市に新工場を開設し継続的な人材確保と金型部品の安定生産を目指し、精密成形品事業では、上記の鈴鹿工場をマザー工場として新たな価値を生み出し、お客様に選ばれ続けるためのグローバル体制の構築を目指して参ります。



## ご参考

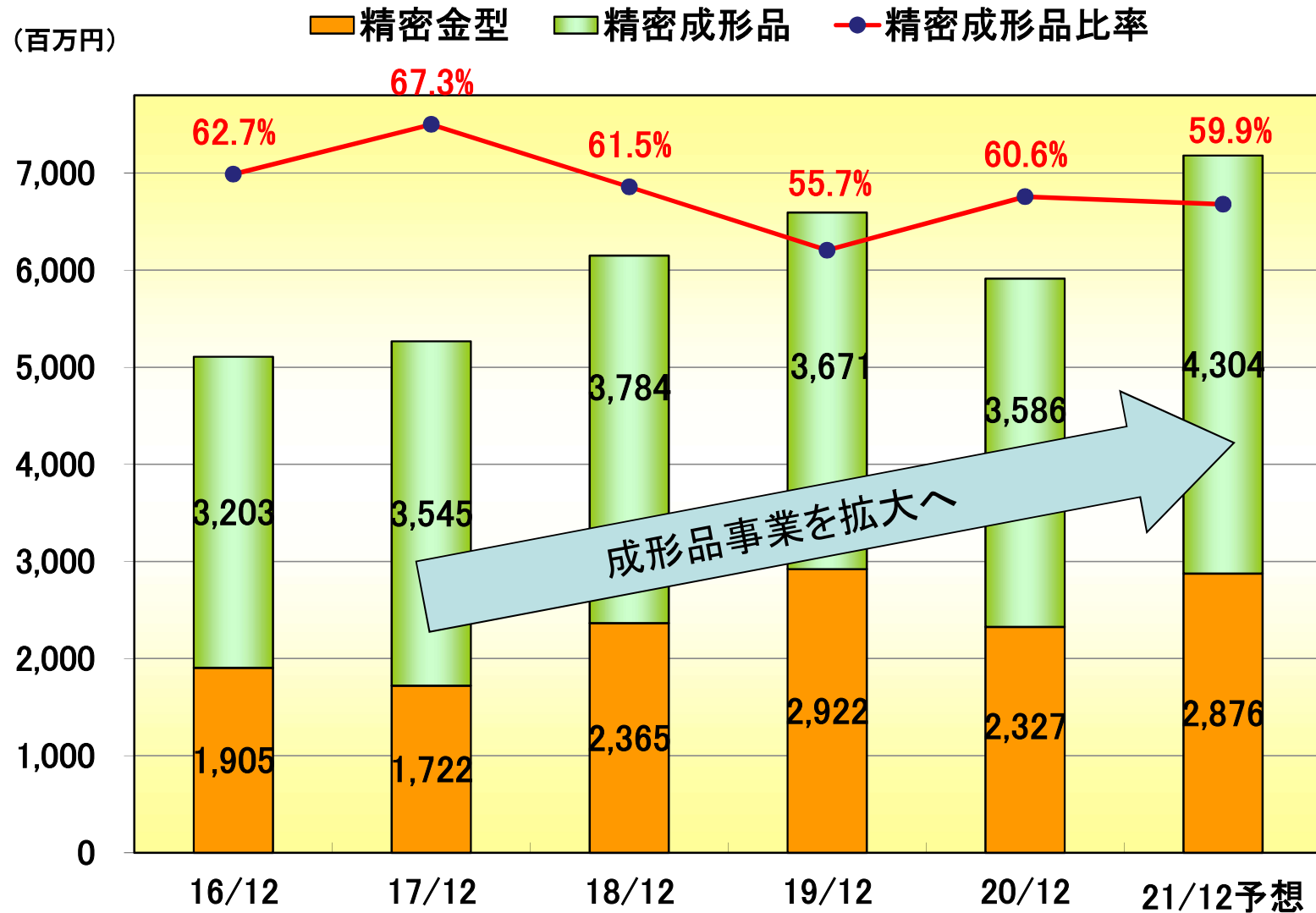
1. 事業別・製品分野別・地域別戦略
2. 不二精機グループ拠点のご紹介
3. 主要製品（精密金型、精密成形品）
4. 私たちの企業理念・長期ビジョン（ES・CS）





# セグメント別売上高推移(連結)

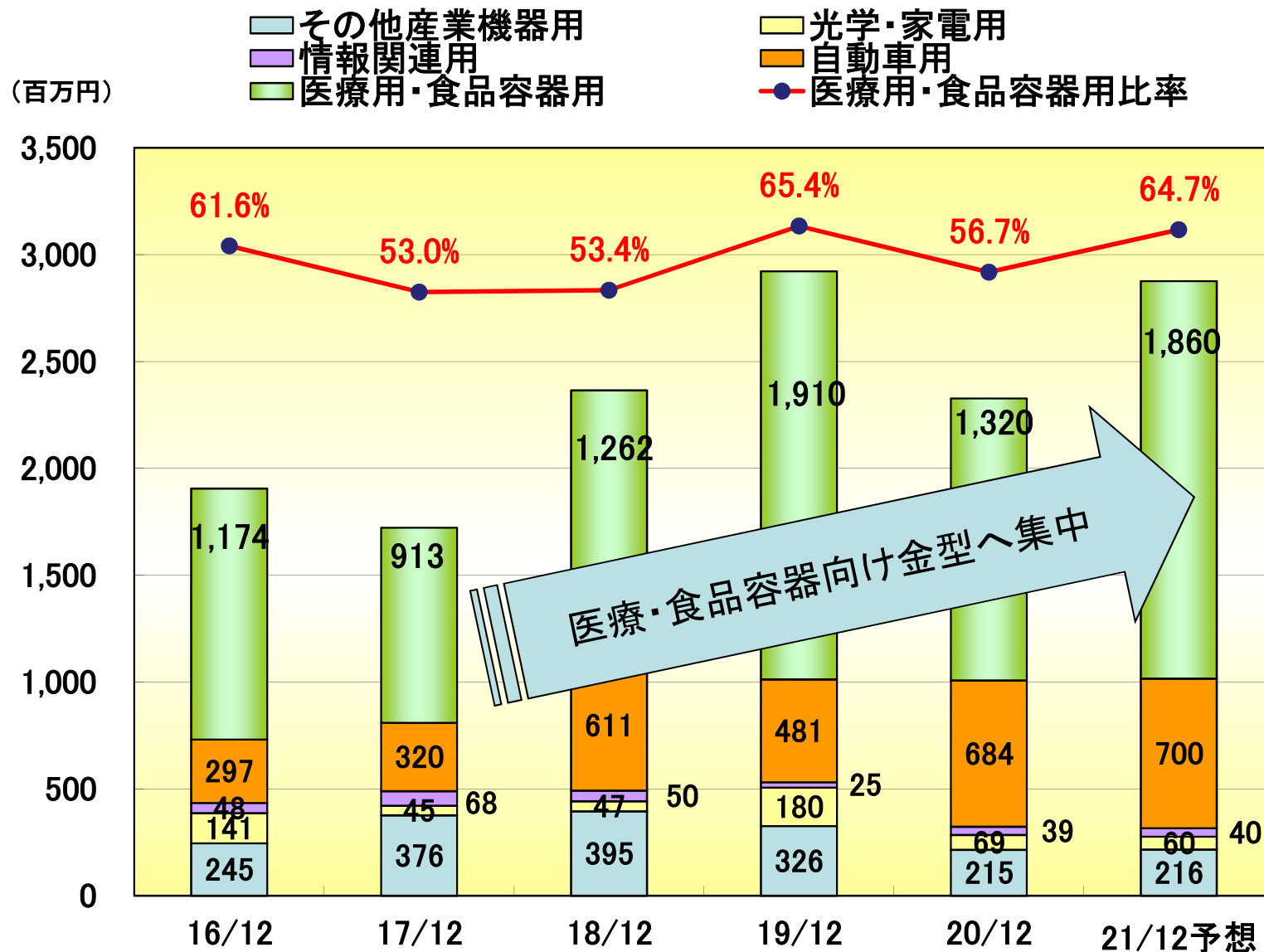
PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



# 精密金型事業 / 分野別売上高推移(連結)

PRODUCT MOTHER

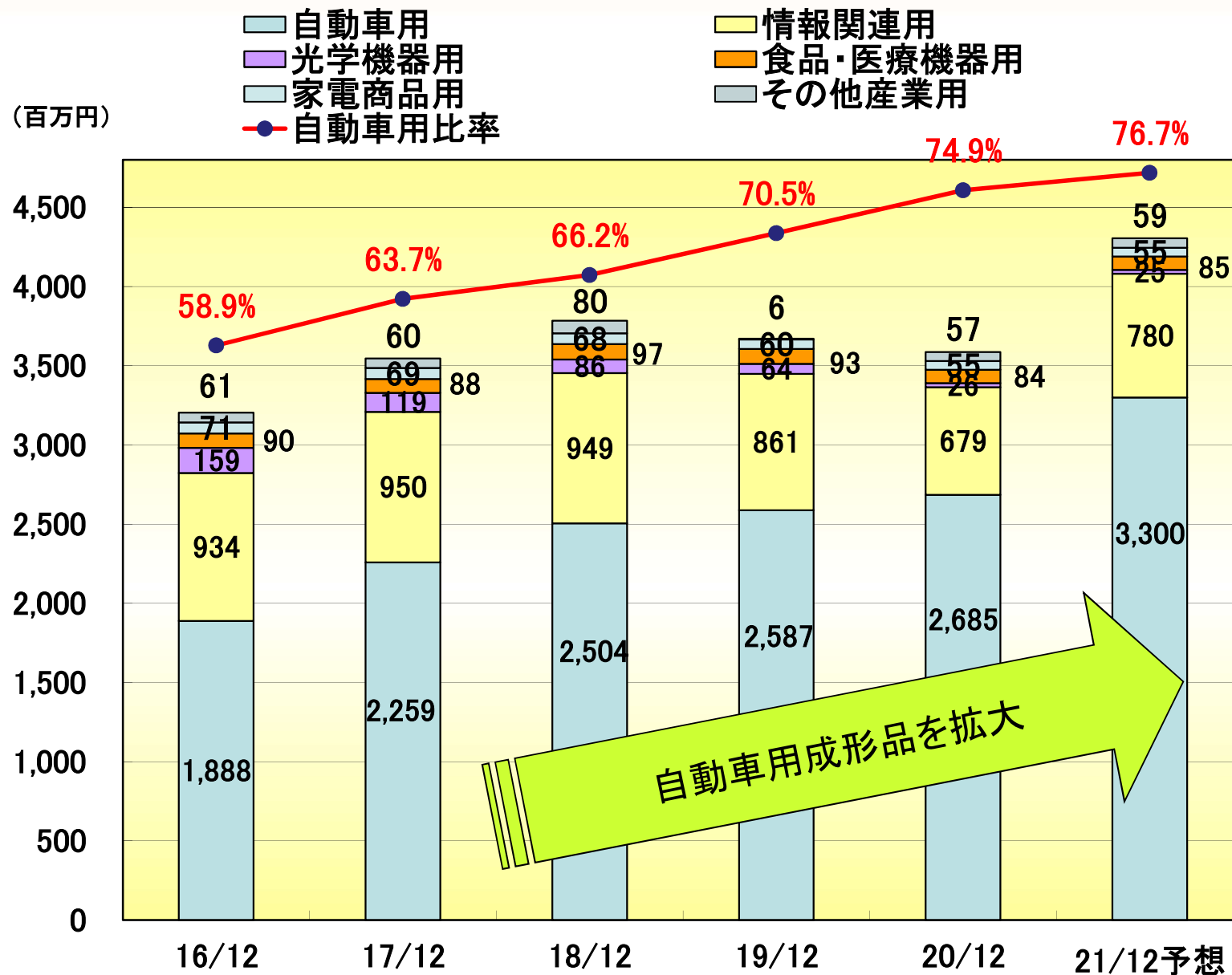
FUJI SEIKI



# 精密成形品事業 / 分野別売上高推移 (連結)

PRODUCT MOTHER

FUJI SEIKI

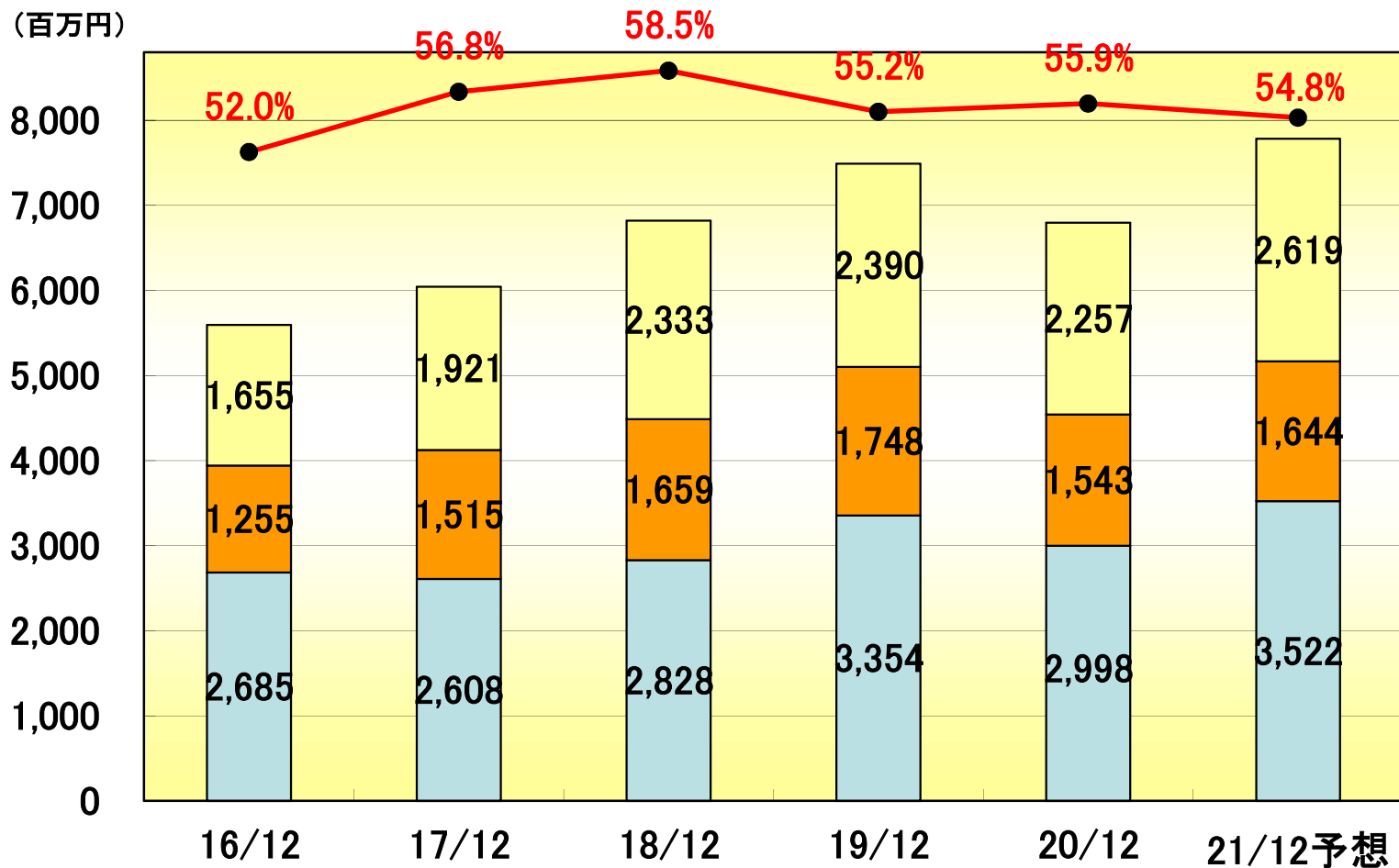


# 地域別売上高推移(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

東南アジア  
市場を拡大

日本 中国 タイ・インドネシア 海外売上比率



(グループ内売上含む)

# 不二精機グループ 拠点のご紹介

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

## 不二精機グループ 501名

### 国内勤務者108名

### 金型事業

生産拠点2工場

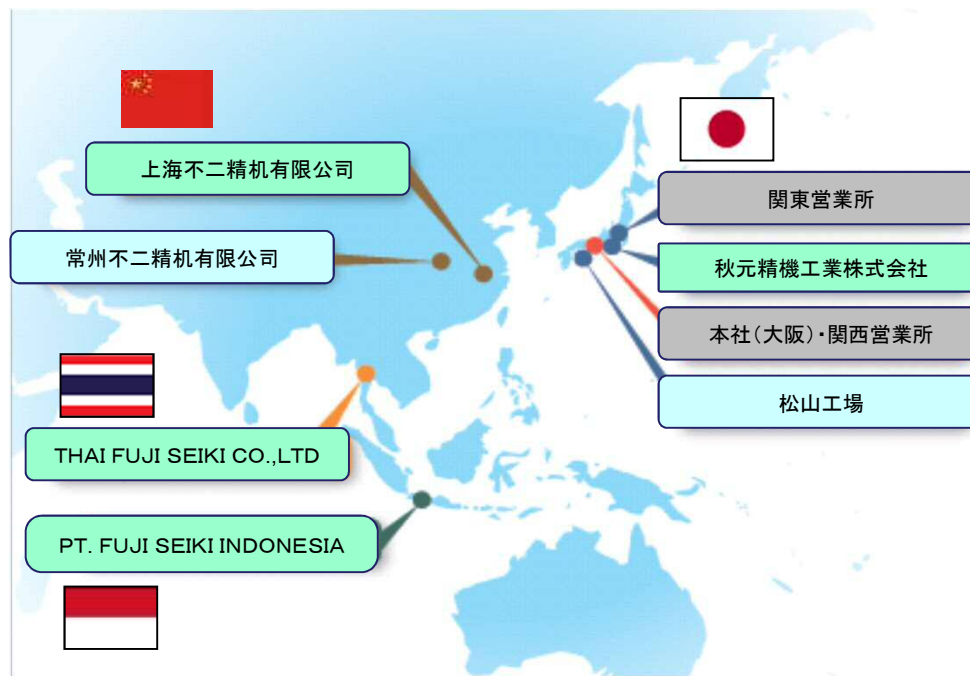


■松山工場

118名



■常州不二精机有限公司



### 営業拠点(国内)

2拠点



■本社(大阪市)  
関西営業所



■関東営業所

### 成形事業

生産拠点4工場

21名



■秋元精機工業株式会社

68名



■上海不二精机有限公司

109名



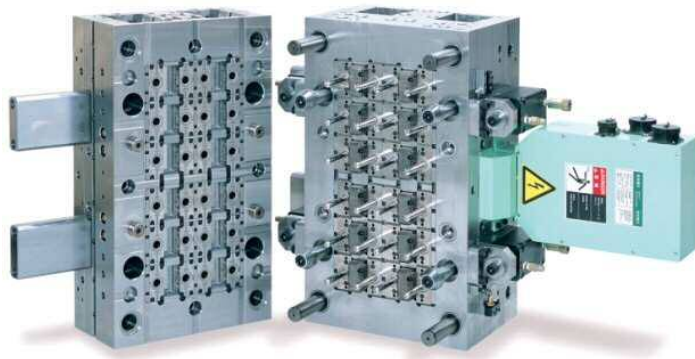
■THAI FUJI SEIKI CO., LTD.

77名



■PT.FUJI SEIKI INDONESIA

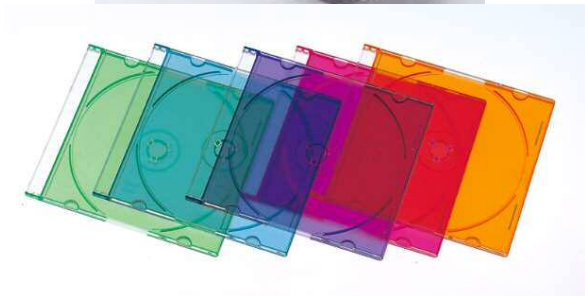
## 医療機器用金型



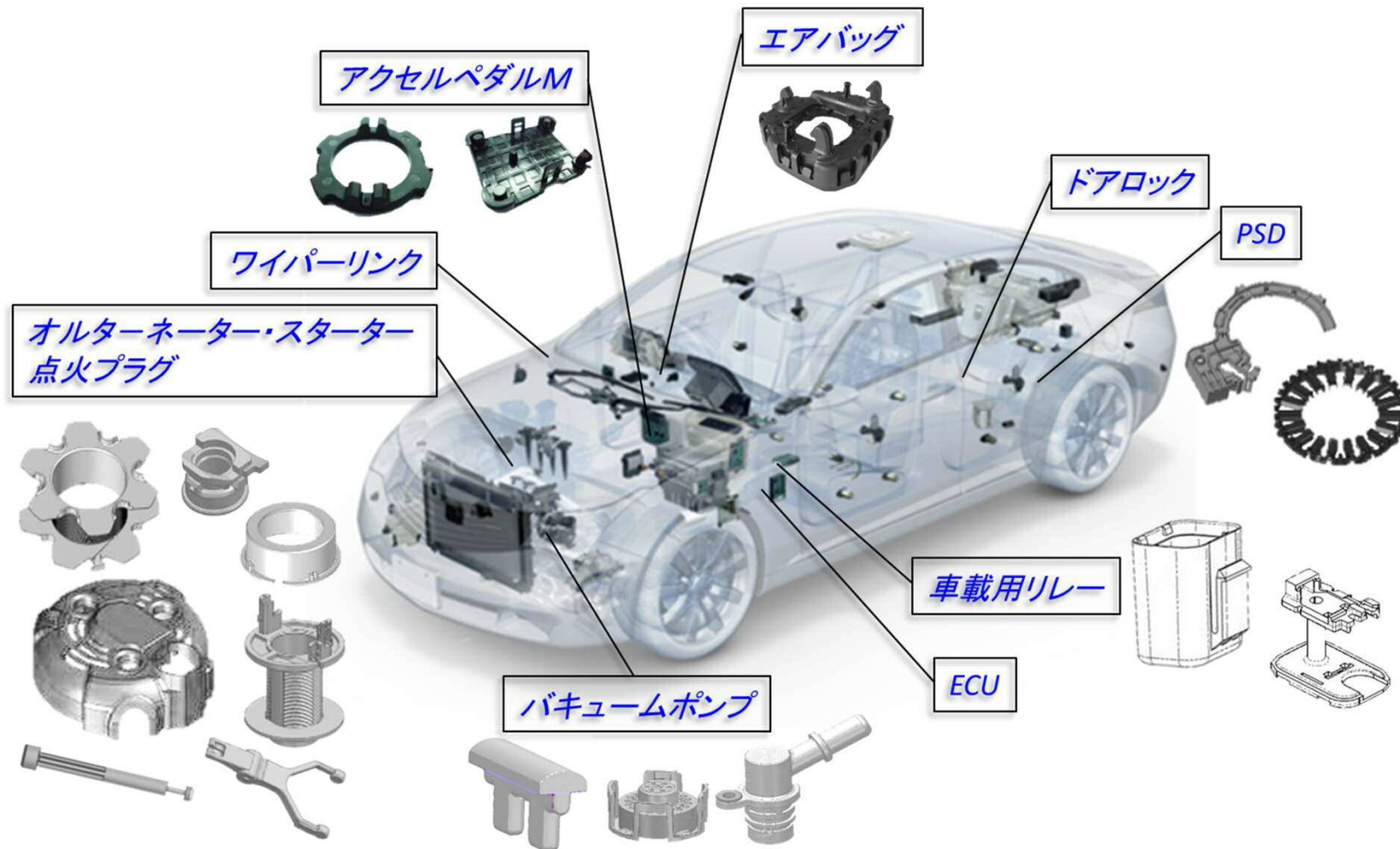
## 食品関連金型



## 情報関連金型 など



## 主力の自動車関連部品



## 企業理念

### 『私たちの使命』（ミッション）何のために存在し、何をを目指すのか

全社員一人ひとりが、情熱を持って自律的に考えて動く、「不二＝2つとないオンリーワン」企業となり、お客様に安心をお届けすることを通じ、社会に貢献し、社員の幸福の実現を目指します！

### 『私たちの価値観』（バリュー）-社訓- 何を大切に考えるのか

- 「技術は命」－決して絶えることのない技術革新を継続しなければ企業として存続できず、社員の生活も守れません。
- 「良品は力」－お客様にとって、最適な製品・サービスを提供することが、企業発展のための最高の力になります。
- 「誠意は道」－企業人である前に、一人の社会人として、常に誠意を持って人と接することは、すべての基本です。



### 『私たちが目指す企業像』（ビジョン）

## 考動で価値を創る

ひとりひとりが考えて動く“Kodoman”となり  
新たな価値を創りだそう！



楽しく働きがいのある私の会社



不二精機グループ 長期ビジョン 【従業員満足 (ES)】

一人ひとりが情熱を持って自律的に考えて動くオンリーワン企業となる！

■「楽しく働きがいのある私の会社」の実現に向けて、計画的に環境整備を実施します。

【環境整備目標】

◇自身の成長を目指せる環境を整備します

- ◆自主的な提案を受け、任せる文化の醸成
- ◆研究開発の推進奨励(研究開発投資予算確保)
- ◆学べる機会の提供(研修制度体系化)

◇利益の分配ルールを明示し遵守します

- ◆賞与原資の決定ルール遵守
- ◆生産性向上成果の還元実施
- ◆メリハリのある公正な評価制度へ継続改善

◇生活の充実・働く環境の整備を進めます

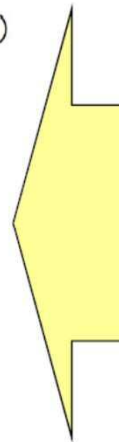
- ◆総労働時間の削減を計画的に実施
- ◆働く環境の整備(多様な働き方への対応)
- ◆健康経営への環境・制度の整備

【一人ひとりが実行する考動】

- ◆自身の成長を目指した自主的な提案の実行
- ◆新たな価値の創造を常に考えぬき提案・実行
- ◆達成すべきスキルの明確な認識と積極的な考動

- ◆利益目標の達成を意識した業務遂行
- ◆生産性向上(付加価値増・時間短縮)活動
- ◆業務実績評価基準を深く理解した業務遂行

- ◆生産性向上による自分の時間創出と活用
- ◆業務改善活動への持続的な取組み
- ◆生活習慣の自覚と継続的な改善



**不二精機グループ 長期ビジョン 【顧客満足 (CS)】**

**PRODUCT MOTHER**

**一人ひとりが情熱を持って自律的に考えて動くオンリーワン企業となる！**

■ 私たち不二精機グループは、製品の価値向上に常に挑戦し続け、常に進化・変革することによってお客様に安心をお届けすることで信頼を勝ち取ります。

